

国际关系学院日语语言文学专业

2009年硕士研究生入学考试试题

日本文学史

(以下内容重要, 考生需在答题前认真阅读)

- ★本科目考试时间为3小时, 总分150分。
- ★考生必须在答题纸上作答, 作答时需按试题顺序标清题号或写清题目。在试题纸, 草稿纸上作答的一律无效。
- ★考试结束后, 经监考人员清点试卷无误后, 考生方可离开考场。试题, 答题纸, 草稿纸一律不得带出考场。

一、次の文学の固有名詞に振り仮名を付けなさい。(20点)

- | | | | |
|-------|----------|-----------|--------|
| ①防人歌 | ②「土佐日記」 | ③紫式部 | ④洒落本 |
| ⑤祝詞 | ⑥世阿弥 | ⑦「増鏡」 | ⑧坪内逍遙 |
| ⑨「破戒」 | ⑩井原西鶴 | ⑪「金色夜叉」 | ⑫「若菜集」 |
| ⑬歌舞伎 | ⑭「徒然草」 | ⑮「宇治拾遺物語」 | ⑯「浮雲」 |
| ⑰太宰治 | ⑱「世間胸算用」 | ⑲井伏鱒二 | ⑳「邪宗門」 |

二、次の文の正しい文を番号で記しなさい。(15点)

- 1、「人間失格」は芥川龍之介自殺前書いた作品である。
- 2、「ある女」は谷崎潤一郎の作品です。
- 3、川端康成の推薦を受けた三島由紀夫の出世作は「煙草」である。
- 4、坑夫の生活を描いた「坑夫」は小林多喜二の作品ではない。
- 5、「破戒」の主人公は時任謙作と言う。
- 6、村上龍は第三次戦後派文学作家ではない。
- 7、樋口一葉は坪内逍遙の影響で小説を書き始めたのである。
- 8、「小説神髓」は坪内逍遙が書いた小説である。
- 9、「厭世詩家と女性」は北村透谷の作品ではない。

11、「糸瓜咲て痰のつまりし佛かな」は正岡子規の俳句である。

三、次の内容の正しい答えを次の ABCD から選びなさい。(10 点)

- ① 平安中期右大将道綱の母が二十一年間にわたる生活をつづった自叙伝。
A 更級日記 B 蜻蛉日記 C 讃岐典侍日記 D 十六夜日記
- ② 在原業平の和歌を中心とした一二〇余段からなる物語。
A 竹取物語 B 大和物語 C 伊勢物語 D 狭衣物語
- ③ 清少納言が自然と人生や宮廷生活などについての見聞と感想などを書いた約三百段ほどの随筆。
A 徒然草 B 今鏡 C 方丈記 D 枕草子
- ④ 905 年、天皇の勅命によって紀貫之らが編集した勅撰和歌集。
A 新勅撰和歌集 B 詞花和歌集 C 玉葉和歌集 D 古今和歌集
- ⑤ 平安後期、約一二〇〇編の説話を集成した日本最大の説話集。
A 宇治拾遺物語 B 宇津保物語 C 今昔物語集 D 古今著聞集

四、次の文章を読んで、()を順番に答えなさい。(30 点)

遣唐使の廃止、摂関政治の確立、仮名文字の発明などを背景にした国風文化の高まりは、十世紀初頭に第一勅撰和歌集(1)を生み出した。醍醐天皇が延喜五(905)年に四人の撰者に命じて(2)以後の優れた歌を撰進させたものである。作者には撰者のほかに、いわゆる六歌仙と呼ばれる人々がいるが、なかでも(3)と女流の(4)が秀抜な歌人であった。また(5)の書いた(6)は、日本最初のまとまった文学論として有名である。歌風は繊細優美で、(7)ぶりと称されている。

鎌倉時代には、また貴族文学の伝統が強く、和歌では後鳥羽院を中心に(8)らによって(9)が作られ、随筆文学においても人生の無常を

詠嘆し、乱世を誠実に生き抜こうとした孤独な人間の感慨が表明された（ 10 ）が書かれている。しかし、散文のほうでは「源氏物語」の系統を引く擬古物語があるが、歴史物語の系列に属する（ 11 ）のような軍記物語が書かれ、各種の説話を集めた（ 12 ）など一連の説話文学が生まれた。この期の末には、随筆文学の傑作（ 13 ）が現れ、人生の深い洞察の目が注がれ、作者の徹底した知性と教養がうかがわれる。

室町時代はその大半が戦乱に終始した。それに伴って、史論、歴史物語、軍記物語が書かれたが、和歌に代わって連歌が盛んになったこと、謡曲や（ 14 ）が成立したり、庶民を対象とした（ 15 ）のような短編小説が作られるようになったりしたことは、前代までと大きく変わる場所である。

五、「枕草子」の一節を中国語に訳しなさい。（15点）

人の心すなほならねば

人の心すなほならねば、偽りなきにしもあらず。されども、おのづから正直の人、などかなからん。おのれすなほならねど、人の賢を見てうらやむは尋常なり。いたりて愚かなる人は、たまたま賢なる人を見て、これを憎む。「大きな利を得んがために、少しきの利を受けず、偽り飾りて名を立てんとす。」とそしる。おのれが心にたがへるによりて、このあざけりをなすにて知りぬ、この人は下愚の性移るべからず、偽りて小利をも辞すべからず、仮にも賢を学ぶべからず。狂人のまねとて大路を走らば、すなはち狂人なり。悪人のまねとて人を殺さば、悪人なり。驥を学ぶは驥のたぐひ、舜を学ぶは舜のともがらなり。偽りても賢を学ばんを賢といふべし。

六、次の短文を日本語に訳しなさい。（15点）

临近煤矿时，黑色的路面坑坑洼洼，疾驰的卡车不得不把速度放慢。车底的弹簧板嘎嘎吱吱地怪叫着；头不断地碰到驾驶楼的顶棚。听到司机骂道路，骂人；粗俗的语言出自一个比较秀丽的少妇之口，产生黑色的幽默。禁不住看了一下她。

七、次の作品はどの小説の冒頭なのか？作者はだれか？その小説及び作者について 300 字ぐらいの感想文をまとめなさい。(二つから一つ選ぶこと) (15 点)

① 僕は三十七歳で、そのときボーイング 747 のシートに座っていた。その巨大な飛行機は分厚い雨雲をくぐり抜けて降下し、ハンブルク空港に着陸しようとしているところだった。十一月の冷ややかな雨が大地を暗く染め、雨合羽を着た整備工たちや、のっぺりとした空港ビルの上に立った旗や、BMW の広告板やそんななにもかもをフランドル派の陰鬱な絵の背景のように見せていた。やれやれ、またドイツか、と僕は思った。

② 幼時から父は、私によく、金閣のことを語った。

私の生れたのは、舞鶴から東北の、日本海へ突き出たうらさびしい岬である。父の故郷はそこではなく、舞鶴東郊の志楽である。懇望されて、僧籍に入り、辺鄙な岬の寺の住職になり、その地で妻をもらって、私という子を設けた。

八、次の問題に簡明に答えなさい。(三つから二つ選ぶこと)

(30 点)

問一：日本独特な小説様式“私小説”について説明しなさい。

問二：日本伝統文学の流れは日本現代文学に如何に受け継がれているのか。

問三：日本近代文学の特質をまとめて見なさい。